シーン1 伊豆の国市とロケ

伊豆の国市ロケマップ
平成17年4月～平成19年11月

その他のロケ作品…映画『SKIN』、TBSドラマ『ブラザービート』・『茶屋次郎・天竜川殺人事件』、ドラマ『混浴露天風呂連続殺人事件』、PV『三菱自動車』、スチール『京都丸紅Moe Oshikiri』など

（＊1）ロケハン…ロケーション・ハンティングの略。主に屋外のロケ地を探すこと。映画、テレビドラマでは、作品のイメージにあったロケ地を決定するため、複数回に分けてロケハンを行う。

（＊2）エキストラ…映画やテレビドラマなどで、重要ではない役に割り当てられる役者のこと。とはいえ、エキストラなくしては映像作品は成り立たない。

（＊3）ケータリング…ロケ現場に出向いて、食事を配膳、提供するサービス

映画やドラマ、CMを一度も見たことがない、という人はいないでしょう。

映像は、それだけ多くの人の目に触れ、大きな影響力を持つメディアです。もし、映像作品の舞台が伊豆の美しい風景で、主人公が伊豆の旅館に泊まり、伊豆の名産品を食べていたら？そして、それを見た視聴者が「私も伊豆に行ってみたい、同じ名産品を食べてみたい」と思ったら…？

その効果は、近年の韓流（はんりゅう）ドラマ人気による韓国旅行ブームを例に挙げるまでもありません。

こんな発想から地域の観光振興をしようと生まれたのが、『フィルム・コミッション』という活動組織。フィルム・コミッションとは、映画、テレビドラマ、CMなどあらゆる映像作品のロケ（撮影）を誘致し、ロケ隊が撮影を円滑にすすめられるよう便宜を図る非営利公的団体のこと。具体的には、ロケハン（＊1）への情報提供、ロケにあたっての各種許認可手続きの代行、ロケ隊の宿泊や食事の手配、ロケの立ち会い、エキストラ（＊2）の手配などです。もともとは、映画の本場アメリカで生まれたフィルム・コミッションですが、今や世界中で三百以上、日本国内でも百以上の団体が存在していると言われます。

伊豆の国市を含む伊豆では、他にさきがけ、二〇〇一年九月に『フィルム・コミッション伊豆（内田隆久会長・以下FC伊豆）』が設立されました。FC伊豆の目的は、「映像を通して地域を再発見し、地域づくりと経済的振興を図る」こと。「伊豆はひとつ」を合言葉に、伊豆地域七市六町の行政、各種団体と連携し、伊豆全体で撮影の支援活動を行っています。設立から六年、伊豆での撮影が成立した映像作品は、ゆうに二百件を越えます。もちろん、伊豆の国市においても、多くの映画、テレビドラマ、CMが撮影されています。右のロケマップは、市内のどこで、どんな映像作品の撮影が行われたかという一覧です。あなたの知っている作品は、いくつありましたか？

このように市内で撮影が行われると、「私の家の近所が、全国放送のテレビに映っちゃった！」などというささやかな喜び以上に、大きなメリットがあるのです。

それは、人の交流が生み出す『経済効果』です。

まず、ロケ隊が滞在中に支払ってくれる『直接的経済効果』。**表1・2**は、最近撮影されたフジテレビ映画『少林少女』と、NHK大河ドラマ『篤姫』の直接的経済効果です。撮影は、多くのスタッフや出演者が、何日も滞在して行われることが多く、この二作品だけでも三千万円以上が、伊豆地域にもたらされているのです。

そして、実際にテレビや映画館で映像作品をみた人が、観光客として伊豆の国市を訪れて支払ってくれる『間接的経済効果』。これは、直接的経済効果と違い短期間での実績的数字としては表しにくい部分がありますが、長期的な目で見ると、低迷する伊豆全体の観光振興に、非常に大きな効果をもたらすのではないかと期待できます。

表1　映画『少林少女』の直接的経済効果

（数字は伊豆の国市、三島市ほか伊豆各地の総計）
撮影期間　平成19年4月25日～6月3日（計40日）
スタッフ数　1日平均80人（最大130人）　延べ4,000人

関連事業者	受け入れ内容	概算金額
宿泊施設	宿泊延べ2,500人 6軒に分宿	1,240万円
仕出屋 弁当屋	弁当は伊豆の国市、三島市 ケータリング（＊3）は沼津市、三島市ほか（首都圏業者もあり）	420万円
鉄道会社	伊豆箱根鉄道の車両貸出	800万円
倉庫貸出業 建設会社	倉庫を撮影場所として貸出 セットを設営	
伊豆の国市 建設会社	管理地を撮影場所として貸出 セットを設営	
建設機械貸出業	高所作業車、散水車を貸出	
GS、ホームセンター、コンビニ等	ガソリン給油、撮影に関わる資材等	140万円
	合　計	2,600万円

フィルム・コミッション伊豆調べ

表2　NHK大河ドラマ『篤姫』の直接的経済効果

（数字は伊豆の国市、下田市の総計）
撮影期間　平成19年9月19日～22日（計4日）
スタッフ数　1日平均170人（スタッフ140人、エキストラ30人）

関連事業者	受け入れ内容	概算金額
宿泊施設	5泊延べ700人 4軒に分宿（うち市内2軒）	450万円
弁当屋	朝・昼・夕食弁当延べ1,800食（うちケータリングによる提供1回）市内3業者	200万円
建設会社	江川邸にロケセット設営	50万円
ホームセンター、雑貨店、コンビニ等	撮影に関わる資材等を購入	100万円
	合　計	800万円

フィルム・コミッション伊豆調べ